



2025年1月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年3月13日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919
 定時株主総会開催予定日 2025年4月25日 配当支払開始予定日 2025年4月28日
 有価証券報告書提出予定日 2025年4月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期の連結業績 (2024年2月1日~2025年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	16,666	23.2	5,328	44.0	4,912	49.1	3,994	69.1	3,994	80.2	4,026	67.1
2024年1月期	13,528	26.2	3,700	66.2	3,295	152.5	2,362	299.4	2,217	657.0	2,409	286.5

	EBITDA※		基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年1月期	7,003	35.2	166.44	163.09	26.9	13.3	32.0
2024年1月期	5,181	42.8	110.05	108.03	24.7	10.0	27.4

※EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費

(参考) 持分法による投資損益 2025年1月期 ー百万円 2024年1月期 ー百万円

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期	38,833	16,421	16,421	42.3	681.09
2024年1月期	34,766	13,270	13,270	38.2	554.24

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月期	5,258	△2,406	△3,379	3,931
2024年1月期	3,446	△904	△388	4,426

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年1月期	—	0.00	—	19.00	19.00	454	17.3	4.0
2025年1月期	—	22.00	—	44.00	66.00	1,587	39.7	10.7
2026年1月期 (予想)	—	42.00	—	42.00	84.00		50.6	

(注) 2025年1月期の配当原資には、資本剰余金が含まれています。

詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

通期	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		EBITDA		基本的1株当たり 当期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
	19,050	14.3	6,200	16.4	5,900	20.1	4,000	0.1	4,000	0.1	8,000	14.2	165.90

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）Japan Eyewear Holdings International Co., Limited、除外 1社 （社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年1月期	24,110,760株	2024年1月期	23,944,260株
2025年1月期	1株	2024年1月期	1株
2025年1月期	23,998,734株	2024年1月期	20,145,582株

（注） 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2025年1月期の個別業績（2024年2月1日～2025年1月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	723	30.7	261	0.1	759	770.3	1,253	—
2024年1月期	553	—	261	—	87	—	△876	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期	52.23	51.18
2024年1月期	△43.50	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2025年1月期	24,703	—	11,643	—	47.1	—	482.75	
2024年1月期	25,309	—	11,286	—	44.6	—	471.13	

（参考）自己資本 2025年1月期 11,639百万円 2024年1月期 11,280百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（1）当社グループは、国際会計基準を適用しております。

（2）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（3）2025年3月13日に当社ウェブサイト（<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>）に決算説明資料を掲載予定です。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2025年1月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末	期末	合計
1株当たり配当金	22円00銭	44円00銭	66円00銭
配当金総額	526百万円	1,060百万円	1,587百万円

(注) 純資産減少割合 0.059

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフツマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として緩やかに回復傾向にあるものの、物価上昇などによる消費者マインドの低下懸念等、先行き不透明な状況が続いています。一方、2024年1月～12月までの訪日外客数は、年間過去最高となる3,686万人となり引き続きインバウンド需要は拡大しております。

このような状況下で当社グループは、「国内外における新規出店の推進」、「フレーム販売価格の見直し等を通じた一式単価の上昇」、「インバウンド需要の確実な獲得」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上収益16,666百万円（前期比23.2%増）、営業利益5,328百万円（前期比44.0%増）、税引前利益4,912百万円（前期比49.1%増）、当期利益3,994百万円（前年同期比69.1%増）となりました。

当連結会計年度における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

〔金子眼鏡〕

金子眼鏡グループでは、国内個人消費の回復やインバウンド需要の拡大により、店舗販売が引き続き堅調に推移しています。インバウンド顧客向け店舗販売は2022年10月以降急速に回復し引き続き高水準を維持しております。また、当連結会計年度において新規出店計11店舗（国内8店舗、海外3店舗）及び近隣好立地への移転などによる退店5店舗を実施した結果、店舗数は89店舗（国内83店舗、海外6店舗）となりました。なお、2024年4月、中国・上海において中国2号店となる思南公館店をオープンし、2024年8月には中国3号店となる洛克・外灘源店をオープン、さらに2024年11月に香港1号店となるPedder Arcade店をオープンするなど、海外における直営店展開の積極化も順調に進捗しております。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は10,793百万円（前期比25.2%増）、セグメント利益は4,074百万円（前期比41.1%増）となりました。

〔フォーナインズ〕

フォーナインズグループでは、前連結会計年度に続き2024年2月にフレーム販売価格を改定したことに加え、直営店における国内顧客の回復及びインバウンド顧客の増加と相俟って、店舗販売は順調に推移しています。また、当連結会計年度において国内新規出店1店舗を実施し、店舗数は16店舗（国内15店舗、海外1店舗）となりました。卸売事業についても、2024年4月及び10月に実施した新型商品展示会において国内、海外ともに前期を上回る受注額を獲得しております。さらには、コスト改善にも継続的に取り組んでおり、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を継続して行っております。また、2024年5月に鯖江の眼鏡フレーム製造事業者である株式会社タイホウを買収し、フォーナインズ製品の内製化にも取り組んでいます。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は5,872百万円（前期比19.7%増）、セグメント利益は1,773百万円（前期比35.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,067百万円増加し、38,833百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が495百万円減少、使用権資産が1,073百万円、有形固定資産が2,114百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度末に比べ916百万円増加し、22,411百万円となりました。これは主に、借入金897百万円が減少、未払法人所得税が363百万円、リース負債が1,087百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度の資本合計は、前連結会計年度末に比べ3,150百万円増加し、16,421百万円となりました。これは主に、当期利益3,994百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況について、現金及び現金同等物の残高は、営業活動により5,258百万円の増加、投資活動により2,406百万円の減少、財務活動により3,379百万円の減少、現金及び現金同等物に係る換算差額により32百万円の増加の結果、当連結会計年度末には3,931百万円となり、前連結会計年度末4,426百万円に比べ495百万円(11.2%)の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,258百万円の収入(前期比52.6%増)となりました。これは主に、税引前利益4,912百万円並びに減価償却費及び償却費1,675百万円の計上があった一方で、営業債権及びその他の債権の増加179百万円、利息の支払額267百万円、法人所得税の支払額1,206百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,406百万円の支出(前期比166.0%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,179百万円、敷金及び保証金の差入による支出108百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出146百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,379百万円の支出(前期比770.2%増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出14,411百万円、長期借入れによる収入13,375百万円、リース負債の返済による支出1,346百万円等によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、経済活動は活発化していく期待はあるものの、長引くウクライナ情勢などの不安定な国際情勢や物価上昇等が続き、依然として先行き不透明な状況で推移するものと予想しております。

当社グループは日本発の高価格アイウェアブランドを目指し、高級感を求める顧客の要求を常に意識し、改善・改革に取り組んでまいります。国内市場においては、お客様に照準を合わせた商品・技術・接客サービス面のアプローチを積極的に強化・推進することで顧客満足度の向上を実現し、ロイヤルカスタマーに結び付けることで、企業価値の向上に努め、成長を図る所存です。また、グローバル展開を視野に新しい展開を拡大してまいります。出店戦略においては、金子眼鏡グループでは、引き続きブランド力を希薄化させないよう、厳選した立地に年間数店舗程度の新規出店及び既存店舗の近隣好立地への店舗移転を目標として、安定的に店舗数を拡大し、当社ブランドの認知向上及び新規顧客需要の創出を図っていく方針であります。また、従来卸売比率の高かったフォーナインズグループにおいても、金子眼鏡の出店ノウハウを活かし、直営店出店を加速していく方針であります。まずは都心を中心に、年間数店舗程度の新規出店を進めてまいります。

グローバル・ブランドとして更なる成長を図るため、高価格帯アイウェアの市場として成長可能性が高く、ラグジュアリーブランドへの嗜好性も高い中国や周辺諸国を重視すべきと考えており、既に出店済みであるフランス、シンガポールに加え、2023年4月に上海に金子眼鏡の中国1号店(直営店)を出店し、2024年4月及び8月に中国2号店と3号店を、2024年11月には香港1号店をオープンしました。当社グループとして高い成長ポテンシャルを見込んでおり中国及び周辺諸国におけるブランド認知を向上させるとともに、現地売上拡大及び国内インバウンド売上の更なる拡大を目指してまいります。まずは、中国などにおけるブランドイメージが醸成されやすいロケーションを中心に直営店出店を進め、中長期的には、直営店に加えて、必要に応じて現地パートナー企業との提携も検討していく方針です。

また、当社グループでは、ブランド価値向上を背景にした価格改定を含む戦略的なプライシング、高品質のフレームに合うレンズ等の高機能・高単価商品の積極的な提案により、継続的な単価の向上を図っております。単価向上を図るためにはカスタマーロイヤリティが構築できていることが前提となりますが、カスタマーロイヤリティ構築及び単価向上を実現するため、高品質のものづくりの追求に加え、ブランドイメージを高める店舗立地や店舗デザインの実現、店舗スタッフの専門性向上に努めております。フォーナインズにおいても引き続き、金子眼鏡のノウハウを活かし、収益性の向上に努めてまいります。

以上により、2026年1月期の通期連結業績予想を、売上収益19,050百万円、営業利益6,200百万円、税引前利益5,900百万円、当期利益4,000百万円としております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要課題の一つと認識しており、連結配当性向40%を目安とし、成長投資への支出機会や現預金残高等を勘案して積極的な株主還元を実施することを基本方針としております。

これにより、当期の期末配当につきましては、前回発表の予想から10円増額し、1株当たり44円とさせていただきたいと存じます。この結果、1株当たりの年間配当金は66円となる予定です。なお、次期の配当金につきましては、中間配当を1株当たり42円、期末配当を1株当たり42円とし、年間の配当金は1株当たり84円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2022年1月期より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当連結会計年度 (2025年1月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,426	3,931
営業債権及びその他の債権	1,150	1,379
棚卸資産	1,497	1,871
その他の流動資産	165	253
流動資産合計	7,240	7,436
非流動資産		
有形固定資産	2,655	4,769
使用権資産	2,688	3,761
のれん	13,899	13,950
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	363	333
その他の金融資産	1,883	1,961
繰延税金資産	116	671
その他の非流動資産	22	51
非流動資産合計	27,526	31,396
資産合計	34,766	38,833
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	428	618
契約負債	445	526
リース負債	1,033	1,200
未払法人所得税	770	1,133
1年内返済予定の長期借入金	950	950
その他の流動負債	665	791
流動負債合計	4,293	5,220
非流動負債		
借入金	12,772	11,875
リース負債	1,703	2,624
引当金	37	45
繰延税金負債	2,189	2,146
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	17,202	17,191
負債合計	21,495	22,411
資本		
資本金	900	943
資本剰余金	10,529	9,602
利益剰余金	1,774	5,769
その他の資本の構成要素	66	106
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,270	16,421
非支配持分	—	—
資本合計	13,270	16,421
負債及び資本合計	34,766	38,833

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
売上収益	13,528	16,666
売上原価	3,042	3,520
売上総利益	10,485	13,145
販売費及び一般管理費	6,689	7,825
その他収益	19	31
その他費用	115	23
営業利益	3,700	5,328
金融収益	4	5
金融費用	409	421
税引前利益	3,295	4,912
法人所得税費用	932	917
当期利益	2,362	3,994
当期利益の帰属		
親会社の所有者	2,217	3,994
非支配持分	145	—
当期利益	2,362	3,994
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	110.05	166.44
希薄化後1株当たり当期利益(円)	108.03	163.09

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
当期利益	2,362	3,994
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	46	32
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	46	32
税引後その他の包括利益	46	32
当期包括利益	2,409	4,026
当期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	2,260	4,026
非支配持分	148	—
当期包括利益	2,409	4,026

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2023年2月1日残高	10	5,086	△443	23	4,676	4,404	9,081
当期利益	—	—	2,217	—	2,217	145	2,362
その他の包括利益	—	—	—	43	43	3	46
当期包括利益合計	—	—	2,217	43	2,260	148	2,409
新株の発行	890	890	—	—	1,780	—	1,780
企業結合による変動	—	4,553	—	—	4,553	△4,553	—
新株予約権の失効	—	—	1	△1	—	—	—
所有者との取引額合計	890	5,443	1	△1	6,333	△4,553	1,780
2024年1月31日時点の残高	900	10,529	1,774	66	13,270	—	13,270

当連結会計年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2024年2月1日残高	900	10,529	1,774	66	13,270	—	13,270
当期利益	—	—	3,994	—	3,994	—	3,994
その他の包括利益	—	—	—	32	32	—	32
当期包括利益合計	—	—	3,994	32	4,026	—	4,026
剰余金の配当	—	△981	—	—	△981	—	△981
株式報酬取引	—	—	—	19	19	—	19
新株予約権の行使	43	54	—	△12	85	—	85
所有者との取引額合計	43	△927	—	7	△876	—	△876
2025年1月31日時点の残高	943	9,602	5,769	106	16,421	—	16,421

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	3,295	4,912
減価償却費及び償却費	1,481	1,675
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	409	421
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△235	△179
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	117	249
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△183	△304
その他	△42	△40
小計	4,838	6,727
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△351	△267
法人所得税の支払額	△1,044	△1,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,446	5,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△771	△2,179
無形資産の取得による支出	△2	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△146
敷金及び保証金の差入による支出	△140	△108
敷金及び保証金の回収による収入	10	30
資産除去債務の履行による支出	△0	△0
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△904	△2,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	13,375
長期借入金の返済による支出	△950	△14,411
コミットメントライン関連費用の支払額	—	△100
株式の発行による収入	1,780	—
リース負債の返済による支出	△1,218	△1,346
配当金の支払額	—	△981
新株予約権の発行による収入	—	85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388	△3,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,217	△495
現金及び現金同等物の期首残高	2,209	4,426
現金及び現金同等物の期末残高	4,426	3,931

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

記載すべき事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー（金子眼鏡、フォーナインズ）を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	8,623	4,905	13,528	—	13,528
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	8,623	4,905	13,528	—	13,528
セグメント利益	2,887	1,304	4,192	△492	3,700
金融収益	—	—	—	—	4
金融費用	—	—	—	—	409
税引前利益	—	—	—	—	3,295
その他の項目					
減価償却費及び償却費	1,057	400	1,457	23	1,481

(注) セグメント利益の調整額△492百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当連結会計年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	10,793	5,872	16,666	—	16,666
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	10,793	5,872	16,666	—	16,666
セグメント利益	4,074	1,773	5,847	△519	5,328
金融収益	—	—	—	—	5
金融費用	—	—	—	—	421
税引前利益	—	—	—	—	4,912
その他の項目					
減価償却費及び償却費	1,194	446	1,641	34	1,675

（注） セグメント利益の調整額△519百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当連結会計年度 (2025年1月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	2,217	3,994
当期利益調整額（百万円）	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 （百万円）	2,217	3,994
加重平均普通株式数（千株）	20,145	23,998
普通株式増加数		
新株予約権（千株）	390	491
希薄化後の加重平均普通株式数（千株）	20,535	24,490
基本的1株当たり当期利益（円）	110.05	166.44
希薄化後1株当たり当期利益（円）	108.03	163.09

（注） 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。